

幼小中つながる通信 vol.79

発行：令和 2 年 9 月 14 日 袋井市教育委員会

中学校の先生が小学校で授業

【浅羽学園】浅羽東小で家庭科を教える加藤先生(浅羽中学校)

小中一貫サポート事業



本市では幼小中一貫教育の取組の一つとして、小中一貫サポート事業を進めています。これは、中学校に「(※)小中一貫サポーター」を配置することで、中学校の教員が、同じ学園の小学校を訪れ、授業を行うことができるようにする取組です。

※今年度は6名の中学校教員を小中一貫サポーターとして中学校に配置しています。

教員の小中交流

専門性の高い授業

担任の先生は教室全体をサポート

浅羽学園では、浅羽中学校の加藤明代先生が学園内の4つの小学校を訪れ、家庭科の授業を行ったり、授業のサポートをしたりしています。毎週木曜日は浅羽東小学校の6年生の授業を、担任の大塚先生と二人体制で行っています。

授業を受けている児童からは、「中学校の家庭科の先生なので、より専門的なことを知ることができず。難しいことも分かりやすく教えてくれるのがとてもいいです。」という感想を聞くことができました。

小学校を知り、中学校の授業に生かす

「初めて小学校の授業をしました。小学校の家庭科で何を学んでいるのか、具体的に知ることができたことで、中学校の授業は小学校で学ぶことを生かしたものにしようと考えようになりました。小学校と中学校の家庭科の授業がつながるようにしていきたいと思います。」と加藤先生。この日の授業は1時間でしたが、授業以外の時間に小学校と中学校の先生が情報交換をしているそうです。

小・中学校の先生が連携して授業を行う取組は、学園で一丸となって幼小中一貫教育を進めているからこそできる取組です。

【袋井あやぐも学園】



袋井北小で体育を教える大場先生

【周南たちばな学園】



山名小で音楽を教える山崎先生

【南の丘学園】



高南小で英語を教える戸倉先生

「幼小中つながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

袋井市教育委員会 教育企画課 幼小中一貫教育推進室 44-3194

